



APCA通信から「ミニ会報 APCA」と新機関誌へ

APCA通信1号は1994年6月に発行されました。今回の95号(2023年3月)で29年目を迎えましたが、このたび紙媒体の「APCA通信」を終了することにいたしました。2023年度からは、ホームページで「ミニ会報 APCA」の配信と新機関誌を皆様にお届けする予定です。ここで、APCA通信のこれまでをふりかえりつつ、これからの広報についてお伝えさせていただきます。

改めてAPCA通信のバックナンバーを読み返しますと、協会の歴史をたどることができます。掲載記事には協会の各事業の活動状況や研究会の報告、イベントのお知らせ、関係機関との連携記事、寄付団体や寄付者様へのお礼や講師派遣状況等々、その時々での協会の動きがわかるようになっていました。

一方で、児童虐待あるいは児童福祉に関連する時事的なテーマを取り上げ、その問題への提言や解説、あるいは専門家による寄稿や連載なども掲載してきました。(83号の巻頭言で「APCA通信が何を発信してきたか」が記されています。)

2019年度には発行回数や紙面のデザインが、年4回モノクロ印刷から年3回2色刷りに変わり、児童虐待防止のシンボルカラーであるオレンジ色がアクセントとなりました。

通信を紙媒体からデジタル版にするきっかけとなったのは、協会の運営経費や人員不足の問題に直面したこと、ならばホームページ上で配信すれば配送費用の削減と発送作業の軽減になるのではないかと思ったからです。さらにここ数年で世の中の風潮がどんどん「デジタル化」へと移り変わり、いつでもどこでも気軽に情報を手に入れられるという時代の要請に、広報事業部としても背を押された感があります。

と同時に、近年はインターネットを利用して協会に寄付をしていただくことも増え、その中には紙媒体の広報物等をお渡しできない方が少なからずおられることも気がかりでした。そこでホームページ(ウェブ)を利用して、会員や寄付者の皆様に提供できるものを作成することになりました。



このような事情で、広報事業部は2020年度ごろよりAPCA通信のデジタル化に向けた検討を始めました。また2022年1月にホームページをリニューアルし、2023年3月に「会員・寄付者ページ」を開設しました。その中で「ミニ会報 APCA」をデジタル配信することになりました。協会の活動をより身近に感じてもらえるように、また児童虐待の問題や情報をより分かりやすくお伝えするために、記事内容に工夫をしていきたいと考えています。

また、紙媒体の広報物としては、新たな機関誌(年1回程度の発行予定)の作成にとりかかっています。会員はじめ関係機関等へ配布し、協会の事業報告的なものだけでなく読み応えのある記事を加え、また写真などを多用し生き生きとした活動状況をお届けできるように、現在検討を重ねています。

これまでAPCA通信の原稿執筆や記事内容にご協力いただいた皆様、また編集発行に尽力してこられた協会のスタッフの方々、そして長年通信の印刷とデザインを担って下さった株式会社坂井印刷所と松尾デザイン事務所の担当者様に深くお礼申し上げます。デジタル版、新機関誌と形は変わりましたが、精一杯、広報活動に努めてまいりますので、どうぞご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。